

3学期の始め、そして新しい年の始めに当たって、今日は一つだけお話しします。それは2学期の終業式で皆さんに出した課題についてです。

今日は話が長くなりますが、どうぞ協力をお願いします。

2学期の終業式で、皆さんに出した課題はこうです。

「世界を、この世の中を、今よりもっと良くするために、これから自分に何ができるか、何をしたらよいか。」

その答えを冬休み中に考えて来てもらいたい、3学期の始業式で何人かを指名するので、答えてもらいます、と。正解はありませんが、皆さん一人一人の考えや思いは、皆さんの頭と心の中にあります、とも言いました。それは、皆さん一人一人に、自分自身の問題として考えて欲しいと思ったからです。

(隣あった生徒同士で、全員が自分の意見を表明し合った後)

それではいよいよ何人かに発表してもらいましょう。まず1年生からいきます。

1年〇組〇〇くん。

(「一人一人が、周りに対する小さな気持ちを持つことが大切だと思います。例えば、電車でお爺さんが座れなかったら席を譲るとか、道にゴミが落ちていたら自分から拾うとか、そういう小さな意識が世界を変えていくのに大事だと思います。」と発表してくれました。)

1年〇組〇〇さん。

(「新聞やニュースを見て、世の中で何が起きているのか、自分の中でよく把握して、他人ごとにしなくて、自分のこととして捉えて、悪いことをしないよう毎日を過ごしていったら、世の中から悪いことがなくなるのではないかと思います。」と発表してくれました。)

2年〇組〇〇くん。

(「僕は今年で誕生日を迎えれば18歳になりますが、18歳から選挙に参加できる制度ができたので、そういうところから何か世の中を良くする方法が見つかるのではないかなと思うので、まずは選挙に参加することです。」と発表してくれました。)

2年〇組〇〇さん。

(「私は、色々なこと小さなことをもっと知ることが大事だと思っています。政治などのような難しいことでなくても、周りの人の、どういうことがあってこう思ったという、小さな感情や気持ちを知るのと知らないのとでは、自分の言うことや行動することの説得力が大きく変わるので、小さなことでも大きなことでも、まずはどんどん知って頭に入れていくことが大切だと思います。」と発表してくれました。)

3年〇組〇〇くん。

(「僕は地方公務員を目指していて、さいたま市のために働けば世の中もう少し良くなると思うので、今は勉強をもっとがんばりたいと思います。」と発表してくれました。)

3年〇組〇〇さん。

（「私は冬休み中に校長先生からの宿題を考えている時に、具体的な答えを見つけることができませんでした。ですが、そのことを考えている時に、とても豊かな気持ちになることができました。人それぞれ進路先やライフスタイルは違ってくると思いますが、日々の生活の中で学び、できることはたくさんあると思います。私は、日々、学ぶことを意識することや、それらを実行できる勇気を持つことが大切だと思います。そのことを常に意識して、世の中の人の役に少しでも立てるように生きていきたいと思います。」と発表してくれました。）

皆さん、素晴らしいと思います。初めに言ったように正解はありませんが、皆さんが色々考えていることが分かりました。では次に、先生方に発表してもらいましょう。

〇〇先生、お願いします。

（「相反する2つのうち、どちらかを選ばなければならない時、強い方や強い人のためにあることと、弱い方や弱い人のためにあることと、どちらを選ぶかと言われたら、より弱い立場にある人のためになる方を選ぶようにしたい。例えば、この選択が先進国のためになるか、新興国のためになるかと言われたら、私は後者を選びます。そんな選択をしたい。」と発表してくださいました。）

次に〇〇先生、お願いします。

（「私の周囲にはお年寄りが沢山います。昨年父を亡くしましたが、生前は介護が大変だったものの、今はとても淋しい思いをしています。お年寄りがどんどん増えていく中であって、お年寄りに喜ばれること、お年寄りに笑顔になってもらえることをしていくことが、一番幸せのかなと思っています。亡き父は認知症でしたが、なぜか「ふるさと」の歌を完璧に歌えました。歌を歌ってあげると、お年寄りを元気にしてあげられると思うので、皆で施設にお世話などに行って、一緒に歌を歌ってあげると、周りに幸せがやってくるのかなと思っています。」と発表してくださいました。）

ありがとうございました。

実は皆さんはもう、世の中を良くするための第一歩を踏み出しました。2学期の終業式で出した宿題について、人ごととしてではなく、自分に関わることとして、自分だったらどうかと考えること、そして自分なりに意識すること。それが、世の中を良くするための第一歩です。ですから、皆さんのほとんどは、もう第一歩を踏み出しているのです。

さあ、それでは次の一步を踏み出しましょう。これから自分に何ができるのか、自分の頭で考えたら、次はそれを実行に移しましょう。

でも、2学期の終業式で話したようなノーベル賞を取ることは、なかなかできないし、そんなに大それたことはできない。例えば「貧困をなくす」とか「悪を滅ぼす」とか、そんなことは誰にだって簡単にできることではない。

でも、「たいしたことはできない」と「何もできない」は違います。根本的に物事を解決することはできなくても、少しずつでも解決に近づけることは、いくらでもあります。「世界中の人々」とか「困っている全ての人」に対してはできなくても、自分の目の前にいる一人にだったら、自分の身近にいる誰かにだったら、もっと何かできるかも知れない。

シリアの内戦を解決したり、テロに怯える国際社会に安心をもたらしたりすることはできなくても、電車やバスで目の前のお年寄りや妊婦さんに席を譲ることはできるでしょう。

でも、席を譲ることが、国際紛争の解決と関係あるのか？

あなた方一人一人の考えと行動が、毎日少しずつでも誰かを明るくしたり、喜ばせたりできれば、その度にその人は少しだけ良い気分になれて、今度は他の誰かに対して少しだけ優しくなれたり、親切にできたりするかも知れない。そしていつかあなたと同じように「世の中を、今よりもっと良くするために」と考えて行動するようになるかも知れない。

「かも知れない」ってことは、そうならないことも大いにあり得るってことです。

けれども、体育祭の閉会式で皆さんに話した通り、人生においては、どんなに頑張っても自分の願いが叶うとは限らないし、むしろ叶わないことの方が多い。それでも、願いを叶えたいと思うならやってみるしかない。やっても願いは叶わないかも知れないけど、やらなければ絶対に願いは叶わない。そうお話ししました。

自然エネルギー100%の世界を実現できなくても、寒い時に重ね着をすることで、暖房温度を低めにして、消費電力を減らすことはできるでしょう。それが、原子力に頼らないエネルギー社会への一歩なのです。

東日本大震災や熊本地震の被災地復興のために、現地ボランティアに参加することは難しくても、東北産のお米を買ったり、熊本産の野菜や果物を買ったりはできるでしょう。それが被災地復興の助けになり、被災地の方々の笑顔に繋がるのです。

県内の交通事故をゼロにはできなくても、大宮駅から自転車で通学する時に他人に迷惑を掛けたり、不快な気持ちを抱かせずに済むよう、ルールとマナーを守って運転するために、10分早起きして、ゆとりをもって登校することはできるでしょう。それが地域の皆さんの安心安全につながるのです。

皆さんが、たといノーベル賞学者の大隅（おおすみ）先生などのように、世界中から尊敬と評価を得られなくても、身近な人や道行く人から「ありがとう」と感謝されることや、ちょっとだけ良い気分にしてあげることは、いつでも、いくらでもできます。

そのために自分に何ができるのか、何をすべきなのか、それを自分の頭で考えたら、勇気を出して行動しましょう。

結びです。

「たいしたことはできない」と「何もできない」は、全く違うのです。

どうせ自分一人が何かしたって、何も変わりはないとあきらめてはいけない。

どうせ自分がやらなくたって、誰かがやってくれるだろうと人任せにしてはいけない。

自分たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。先ほど皆さんに発表してもらったように、そのために自分にできること、すべきことを、自分で考えて、意識して、行動してください。

あなたにとって、今年が去年より、ほんの少しでも良い年になりますように。

あなたの周りの人が、あなたのお陰で、去年より少しでも幸せになりますように。

明けましておめでとう。